

現行システムをベースとした次期システムにかかる情報提供依頼内容の詳細

## はじめに

この資料は、三重県（以下、「本県」という。）が実施している「三重県総合税システムの構築に係る情報提供依頼」のうち、「現行システムをベースとした次期システム」にかかる情報提供依頼の内容について、詳細を記載したものです。

情報提供を依頼したい内容については、「1 情報提供を依頼したい内容」を、提案に際して考慮していただきたい項目については、「2 提案に際して考慮いただきたい内容」をご確認ください。

### 1 情報提供を依頼したい内容

現行の「三重県総合税システム」は、平成 13 年度に構築後、機器更新や機能追加等を実施しつつ現在まで運用を行っていますが、長期間にわたる運用の弊害として、競争性の欠如による運用経費の高止まりのほか、機能の陳腐化、情報セキュリティ上の危殆化を招いていると考えています。

さらに、現行システムの機器リース期間が終了する令和 12 年 9 月末日（予定）において、現行システムにてこれまで利用していた UNIX サーバの購入ができなくなることから、次期システムにおいて、少なくとも、UNIX サーバ以外の構成へと変更する必要があります。また、外部環境の変化として、地方公共団体（市町村）における基幹業務システムの標準化、ガバメントクラウド利用推進といった自治体業務の DX への対応等が求められていますが、現行システムでの対応は難易度が高いと考えています。

しかし、これまでの実績として、数度の機器更新を行いながら、制度改正だけでなく、必要な改修を実施することで、大きな不具合の発生なく、現在も安定的に運用ができているため、現行システムをベースとした次期システムの実現可能性について、検討を行いたいと考えています。

つきましては、現行システムをベースとした次期システムについて、「2 提案に際して考慮いただきたい内容」をふまえ、情報提供をお願いします。なお、現時点で対応が困難なものや、不可能なもの、条件がそろえば対応可能なもの等についても、可能な範囲で情報提供いただくようご協力をお願いします。

さらに、提案を行っていただいた内容を実現するための課題や費用等についても、可能な範囲でお示しいただくようお願いします。

- ※ 現行システムをベースとした次期システムとは、次期システムにかかる設計・構築業務等におけるコストやリスクの低減の他、利用者の操作習熟に伴う業務負荷の低減等を目指して、現行システムの機器構成や各種機能等を可能なかぎり引き継ぐ形で構築した次期システムのこと。

## 2 提案に際して考慮いただきたい内容

情報提供を実施いただくに当たり、情報提供依頼項目「依頼内容 01 三重県総合税システムのあるべき姿にかかる情報提供依頼内容の詳細」における「2 提案に際して考慮いただきたい内容」の

- (1) 次期システムにおける全体的な考え方
- (2) 現行システムにおける課題（機能要件）
- (3) 現行システムにおける課題（非機能要件）
- (4) 外部環境の変化

のほか、以下に示す「(1) 現行システムをベースとした次期システムの提案」「(2) 現行システムをベースとすることによるメリット(デメリット)」に加え、「(3) 現行システムをベースとした次期システムを構築する場合の課題と対応策」についても考慮いただいたうえで、可能な範囲で情報提供をいただくようお願いいたします。

なお、システム全体に対する情報提供だけでなく、それぞれの課題に対する情報提供のみでも構いません。さらに、下記の課題等にとらわれず、今後対応すべき課題等があれば、できる限りの情報提供についてご協力をお願いします。

### (1) 現行システムをベースとした次期システムの提案

現行システムを活用したシステムの再構築にあたり、現行システムで利用している UNIX サーバが販売停止されることへの対応、及び現時点で想定される制度改正や各種課題に対する改善策を盛り込んだ次期システムの基本構成や費用等について、情報提供をお願いします。

特に、これまで利用していた UNIX サーバが利用できなくなることから、UNIX サーバの代替機としてどのような機器を用意するかに加え、新たな環境へと移行する場合に必要な作業等として、過去の移行事例等から想定される具体的な作業内容等について情報提供をお願いします。

また、これまで現行システムを継続して利用してきたことによるさまざまな課題に対して、その改善策や、他の自治体等における課題解決の事例等があれば、それらを積極的に取り入れた内容にて提案を行っていただくようお願いいたします。

なお、以下の課題に対する改善策については、特に重要な課題と考えていますので、十分考慮いただきますようお願いいたします。さらに、現行システムの機能改修だけでは改善ができない（もしくは、改修費用が高額になる）といったケースがあれば、その詳細についても、情報提供をお願いします。

- ・ 競争性を確保し、運用経費を低減するために必要な取組み（特に維持管理経費や制度改正に伴う改修経費について、市場価格となるようにしたいと考えています。）
- ・ システムをあらかじめ標準化、モジュール化対応しておく等、新たな制度改正等に柔軟に対応できる仕組み
- ・ 機器及びソフトウェア等のリースにかかる高額な費用を低減するための仕組み

- ・ 現行システムにかかる本県運用担当職員の業務負荷を低減させるための仕組み

## (2) 現行システムをベースとすることによるメリット（デメリット）

### ア 費用

- ・ 現行システムを活用して次期システムを構築する場合、新たなシステムをベースとして構築する場合と比較した際の費用面でのメリット（デメリット）について情報提供をお願いします。
- ・ なお、現行システムにおける運用経費については、競争性の欠如のほか、維持管理経費や改修経費の高止まりなど、改善すべき点が多いと考えており、これまでもいくつかの取り組みを行ってきましたが、劇的な効果は現れていないと考えています。そのため、データの裏付けや実績等の根拠に基づき可能な限り具体的な改善策についてご提案をお願いします。
- ・ また、現行システムの運用期限として、想定している令和 12 年 9 月末日までに対応が可能な費用低減の方策等があれば、あわせて情報提供をいただくようお願いします。

### イ 業務負荷

- ・ 現行システムを活用して次期システムを構築する場合、新たなシステムをベースとして構築する場合と比較した際の業務量でのメリット（デメリット）について情報提供をお願いします。
- ・ なお、業務負荷については、「再構築時における業務負荷」と「通常運用時における業務負荷」のそれぞれにおいて、情報提供をお願いします。
- ・ 特に「再構築時における業務負荷」について、現行システムを活用する場合は、どのような業務が省略できるかについて、情報提供をお願いします。
- ・ 「通常運用時における業務負荷」について、これまで現行システムにおいて業務負荷を削減するための見直し等を行ってきましたが、劇的な削減は実現できていないため、改善策等を提案いただく場合は、可能な限り、データの裏付けや実績等の根拠に基づき具体的な提案としていただくようお願いします。（職員側の業務負荷だけでなく、運用担当 SE 側の維持管理業務の負荷軽減についても、提案をお願いします。また、令和 12 年 9 月末日までに対応が可能な方策等があれば、こちらも情報提供をいただくようお願いします。）

### ウ 機能改修

- ・ 現行システムを活用して次期システムを構築する場合の機能改修（機能追加）に関して、新たなシステムをベースとして構築する場合と比較した際のメリット（デメリット）について情報提供をお願いします。

- ・ なお、想定される機能改修として、これまでのような制度改正に伴う機能改修のほか、標準化対応や外部連携の強化といった大規模改修だけでなく、システムの根幹部分の改修についても発生すると想定しているため、現行システムでの対応が不可能なものがあれば、その内容についても情報提供をいただくようお願いします。(現行システムを利用し続けた場合に、例えば生体認証を取り入れたい、モバイル端末から閲覧したいなどといった要件について、後から対応ができないということがないよう、現時点で対応ができないものを把握しておきたいと考えています。)

#### エ データ移行

- ・ 次期システムの構築（令和 12 年 10 月リリース予定）にあたり、現行システムからのデータ移行を行う必要がありますが、現行システムを活用して次期システムを構築する場合のデータ移行に関して、新たなシステムをベースとして構築する場合と比較した際のメリット（デメリット）があれば情報提供をお願いします。
- ・ また、システムの周期的な更改を考慮した際に、次々期システムへのデータ移行が容易に実施できるような施策があれば情報提供をお願いします。

#### オ 著作権

- ・ 現行システムはフルスクラッチで構築し、制度改正等における機能改修に際しても、プログラムに係る著作権は本県側に譲渡されているため、現行システムにおけるすべてのプログラムについて、ソースを公開したり、自由に改変を行ったりすることが可能です。しかし、これまで開発事業者以外に対して公開したり機能改修を委託したりしたことはなく、有効活用ができていません。
- ・ そのため、著作権が自治体側に譲渡されており、かつ、実際に有効活用を行っている事例があれば情報提供をお願いします。

#### カ その他

- ・ 上記以外に、現行システムをベースとして次期システムを構築する場合において、新たなシステムをベースとして構築する場合と比較したメリット（デメリット）があれば、情報提供をお願いします。

### (3) 現行システムをベースとした次期システムを構築する場合の課題と対応策

#### ア 電算担当職員の業務負荷

- ・ 次期システムを構築する場合、県の担当職員が本県側の設計・構築業務における作業等を担当することになると想定していますが、その人数や期間、求められる税務業務等の知識や経験年数等の詳細について、過去の事例や実績等をふまえて、情報提供をいただくようお願いします。また、当該担当職員をフォローするための仕組みや体制についても情報提供をお願いします。

- ・ 現行システムをベースとして次期システムを構築する場合、本県の担当職員の業務負荷が複数年度に渡って高くなると想定していますが、新たなシステムを活用して再構築する場合と比較すると負荷は抑制できると想定しています。また、構築を担当する受託事業者との間で適切な役割分担を行ったり、本県の電算担当職員にかかる業務の一部を外部委託したりすることで、さらなる業務負荷の低減が可能だと考えています。
- ・ そのため、現行システムをベースとして次期システムを構築する場合に、電算担当職員の業務負荷を低減するための対応策等があれば、過去事例や成功事例等をふまえて、情報提供をいただくようお願いします。

#### イ その他の改善策

- ・ 現行システムにかかる課題等にかかる改善策等について、現行システムや税システムに限らず、成功した（改善された）事例や、実績等があれば、積極的な情報提供をお願いします。